

# スポーツによる地方創生 —FC今治をケーススタディーとして—



早稲田大学 間野義之ゼミ

# 目次

1. 緒言
2. 調査方法及び結果
3. 考察
4. 政策提言
5. 参考文献

# 1. 緒言

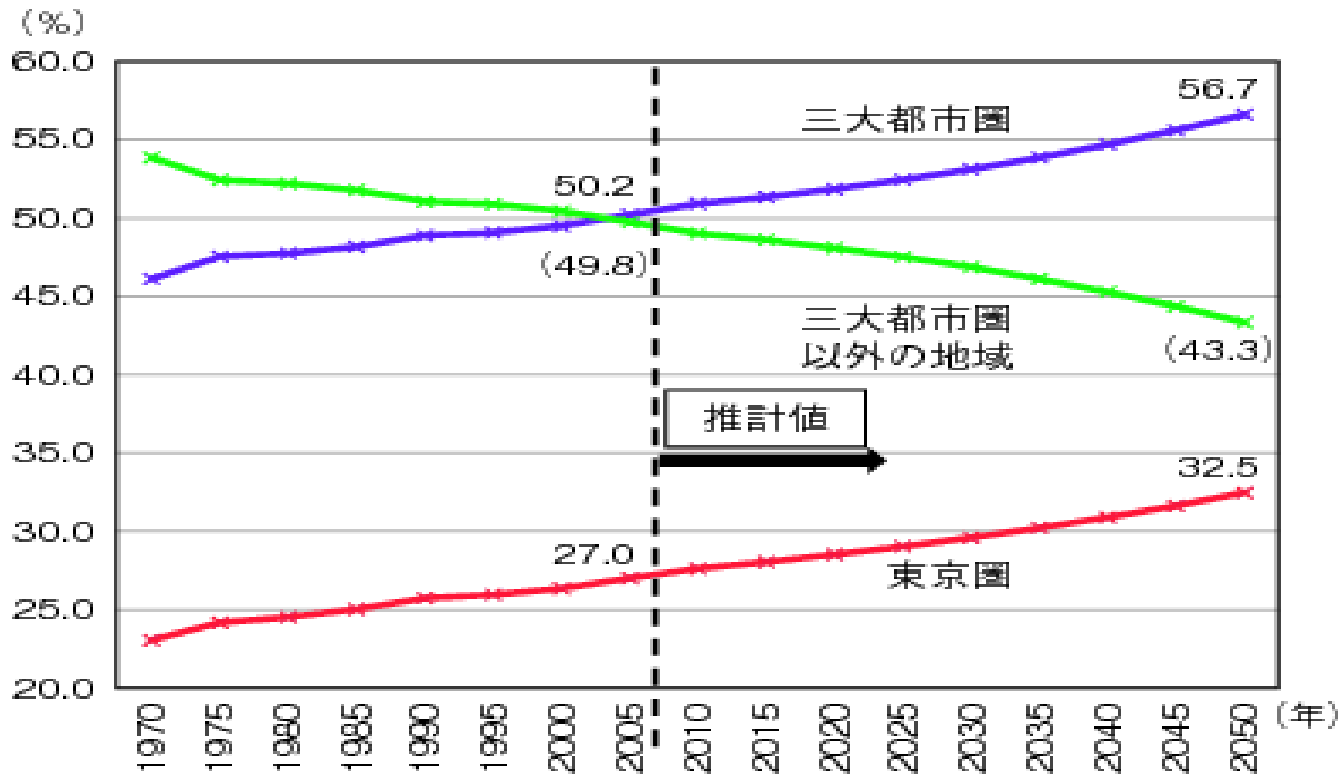
# 消滅可能性都市

- 人口移動により、  
将来存続が危ぶまれる896市町村  
全国の市町村の49.8%に該当

- 愛媛県 今治市  **消滅可能性都市**

(増田ら,2014)

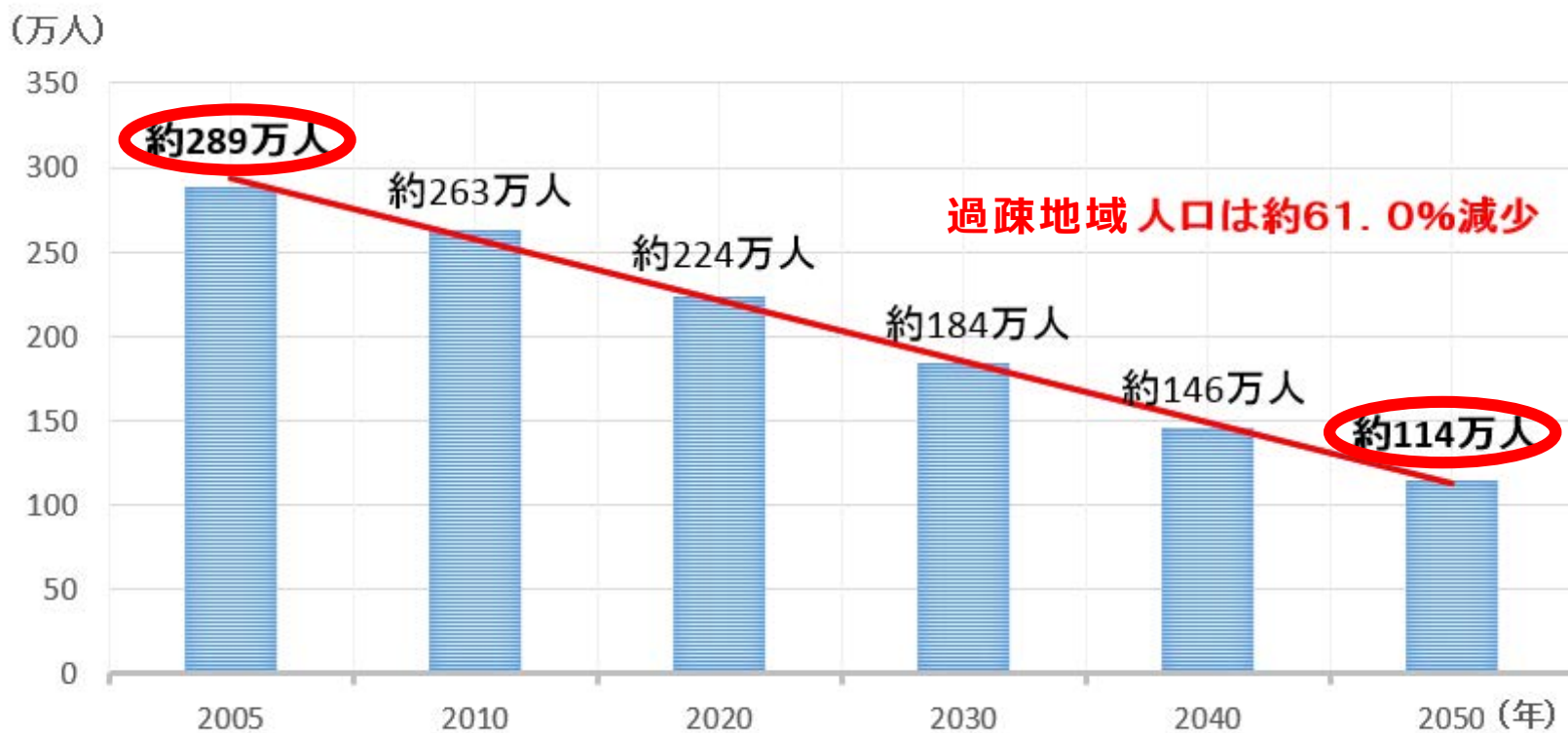
# 三大都市圏への人口集中



## 三大都市圏及び東京圏の人口が総人口に占める割合

(出典) 国土交通省国土審議会政策部会長期展望委員会「国土の長期展望」中間とりまとめ (2011)

# 過疎地からの人口の流出



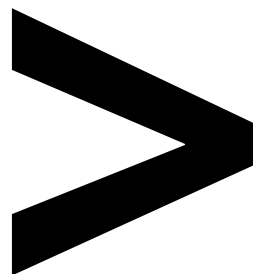
## 過疎化が進む地域の人口推移

(出典) 国土交通省国土審議会政策部会長期展望委員会「国土の長期展望」中間とりまとめ(2011)

# 過疎地の人口流出が進む

## 人口減少率

過疎地  
約61.0%



日本全国  
約25.5%

# 地方創生の機運

## まち・ひと・しごと創生法 第一条(H26.11.28)

- 『急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し...』

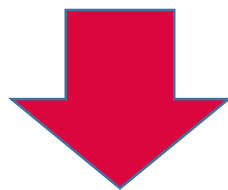
## 安倍晋三総理 まち・ひと・しごと創生会議 (H27.4.3)

- 『本年は、地方創生元年です。地方の総合戦略の策定・実施が開始される地方創生を成功させ...』



# スポーツ基本法

『スポーツは、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものであり人間関係の希薄化等の問題を抱える地域社会の再生に寄与するものである』



地域社会等における問題の解決に期待

# スポーツによる地域活性

- 「FC岐阜」は、岐阜県の知名度・愛着度・環境美化向上に役立っていると地元住民は考えている（大石ら,2012）
- 「大分トリニータ」の観戦に対する関与が高いファンほど、地域への愛着が高い（二宮,2010）

# 地域活性に関する研究

- 「目的地への近接感と近隣の景観に関する変数が定住意識に影響を与える」 (小森ら,2009)
- 「グリーンツーリズムによる地域活性化の可能性」 (古屋ら,2004)

# 先行研究

- 地域活性・定住意向に影響を与える要因を明らかにする研究は多く存在
- プロスポーツが地元の地域活性、地域愛着に貢献することが明らか

# 愛媛県今治市



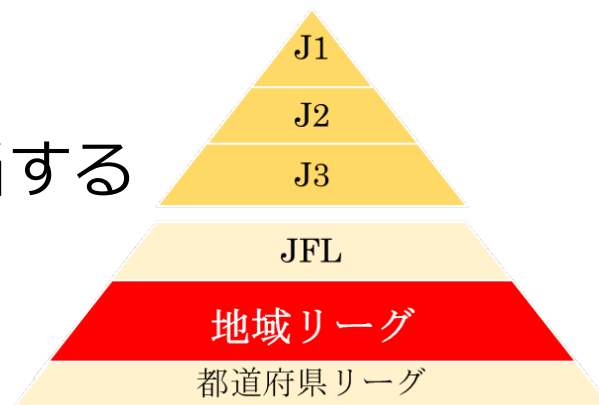
**消滅可能性都市**





# FC今治

- 1976年にクラブ誕生
- 日本のサッカーリーグ5部に相当する地域リーグ(四国リーグ)に所属



- 2014年11月  
元日本代表監督がオーナー就任





# FC今治への注目



- 本拠地が消滅可能性都市
- 元日本代表監督のオーナー就任以降、急激に注目を集める
- 観客者数が大幅に増加

⇒ FC今治が地方創生に寄与する可能性

## 2.調査方法及び調査結果



# 研究の目標

スポーツによる  
定住意向増加の  
政策を提言する

# 調査目的

## 定量的調査

目的：観戦行動と定住意向の関係を明らかにする

## 定性的調査

目的：観戦行動が増加する要因を明らかにする

## 調査概要

## I 定量的調査

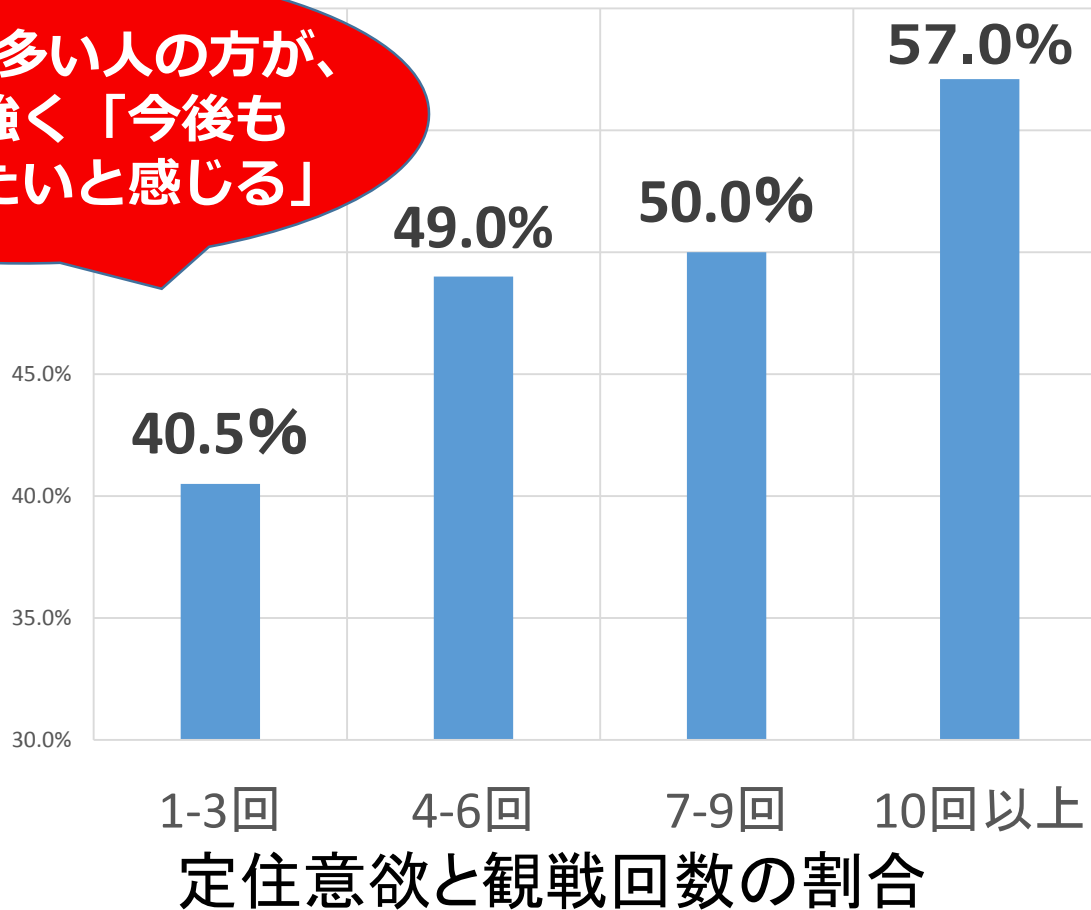
## 観戦者調査

対象	283人
期間	2015年5月24日
場所	今治市桜井海浜ふれあい広場サッカー場
方法	自記式質問紙調査法
項目	居住継続意思、FC今治認知度、 FC今治観戦回数、属性等

## 定量的調査

# 調査結果

観戦回数が多い人の方が、  
今治に強く「今後も  
住み続けたいと感じる」



## 定量的調査

## 調査結果

観戦回数が多い人の方が、  
今治に「今後も住み続けたい」と強く感じている



FC今治では、試合観戦回数の増加に伴い  
地域住民の定住意向が増加する  
可能性が高い

## 調査概要

# Ⅱ 定性的調査

### インタビュー調査

	今治市サッカー協会理事長B氏	FC今治オーナーA氏
期間	2015年10月2日 12:00-13:00	2015年10月2日 15:00-16:00
方法	直接面接法、半構造化インタビュー	
項目	「現在、今治が盛り上がっていると感じるか」 「FC今治を取り巻く環境は変化したか」 「今年に入り、観客数に変化はあるか」	
	「市としてどのようなアプローチをしているか」等	「今後人気を持続させるために有用な手段はあるか」等

## 調査結果

# 定性的調査（B氏）

FC今治の認知度はもともと上昇傾向にあったが、A氏が来てからグッと上がったと思う。

「A氏がやっているから観に行こう」という市民の盛り上がりがある。そして一回観たら「面白いね」となり、継続的に観に来てくれている。

以前はほとんどいなかったホームゲームの観客が、今年ホーム最終戦で2000人程集まるようになった。



考察

## 定性的調査（B氏）

社会的発信力の高いスポーツ  
関係者（A氏）の存在は、

住民の観戦行動を促進し、  
その後の観戦回数を増加させる



## 調査結果

## 定性的調査（A氏）

最終的には今治市が本気になって動かないと、この事業は絶対うまく回らない。

8年後には1万5千人入る大型のスタジアムを建てたいが、これは自分の力だけではできない。資金集めは、我々からやるよりも、行政から色々な名目を持って地元の民間企業を動かしてもらうことが必要。



今、行政が色々な意味で協力してくれて、その中で一番ありがたいのは、スタジアムを作るために公園法に掛からない場所をもらえていること。複合型など、我々が色々なアイデアを出せる許容範囲が与えられている。行政をうまく巻き込み、規制緩和してもらって、任せてもらえるような体制を作っていく。

# 定性的調査（A氏）

今後のクラブ展望

魅力的な観戦環境の提供



規制緩和、スポンサー集めが必要



地方公共団体の協力が不可欠

# 3. 考察

定量調査より

観戦回数が多いほど  
定住意向が高い

定性調査より(B氏)

社会的発信力が高い  
スポーツ関係者は  
地域住民の  
観戦行動を促進し  
観戦回数を増加させる

定性調査より(A氏)

今後、地方公共団体の  
協力は不可欠

社会的発信力が高いスポーツ  
関係者が経営する  
フットボールクラブは  
地域住民の定住意向を高める

**政策提言**

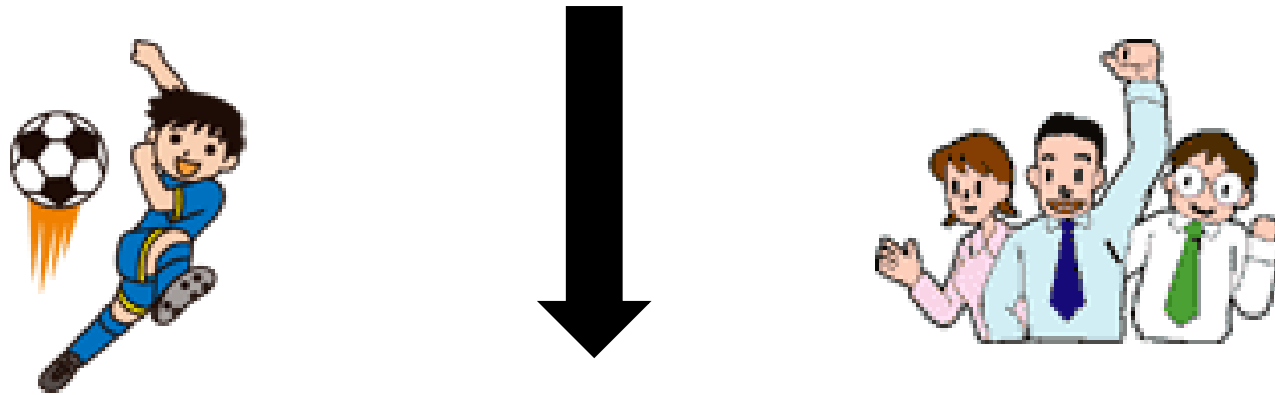
# 結論

社会的発信力が高い  
スポーツ関係者の経営する  
フットボールクラブは、  
地域の定住意向にプラスの影響を  
及ぼす可能性が高い  
＋  
今後、地方公共団体の協力が  
不可欠となる

# 4.政策提言

# 今治を見本としたシステム

社会的発信力の高いスポーツ関係者のフットボールクラブの運営



地域の定住意向の向上

# 政策提言

内閣府地方創生推進室

地方創生コンシェルジュがモデル

**スポーツコンシェルジュ**  
**スポーツ庁に設置**

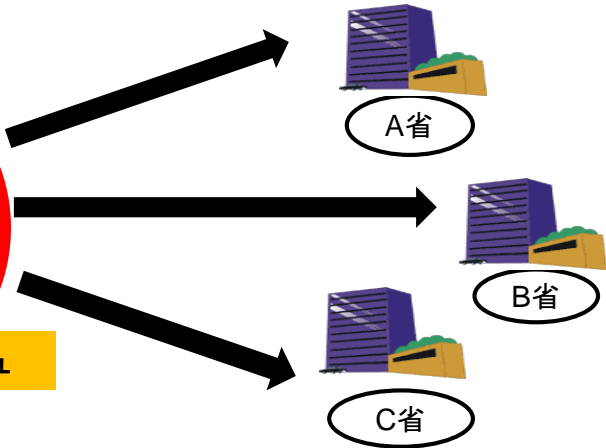


# 地方創生コンシェルジュ

要望先が不明確な場合



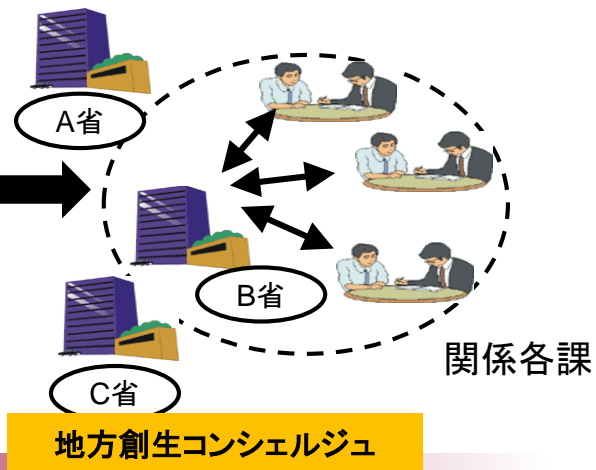
要望



要望先が明確な場合



直接要望



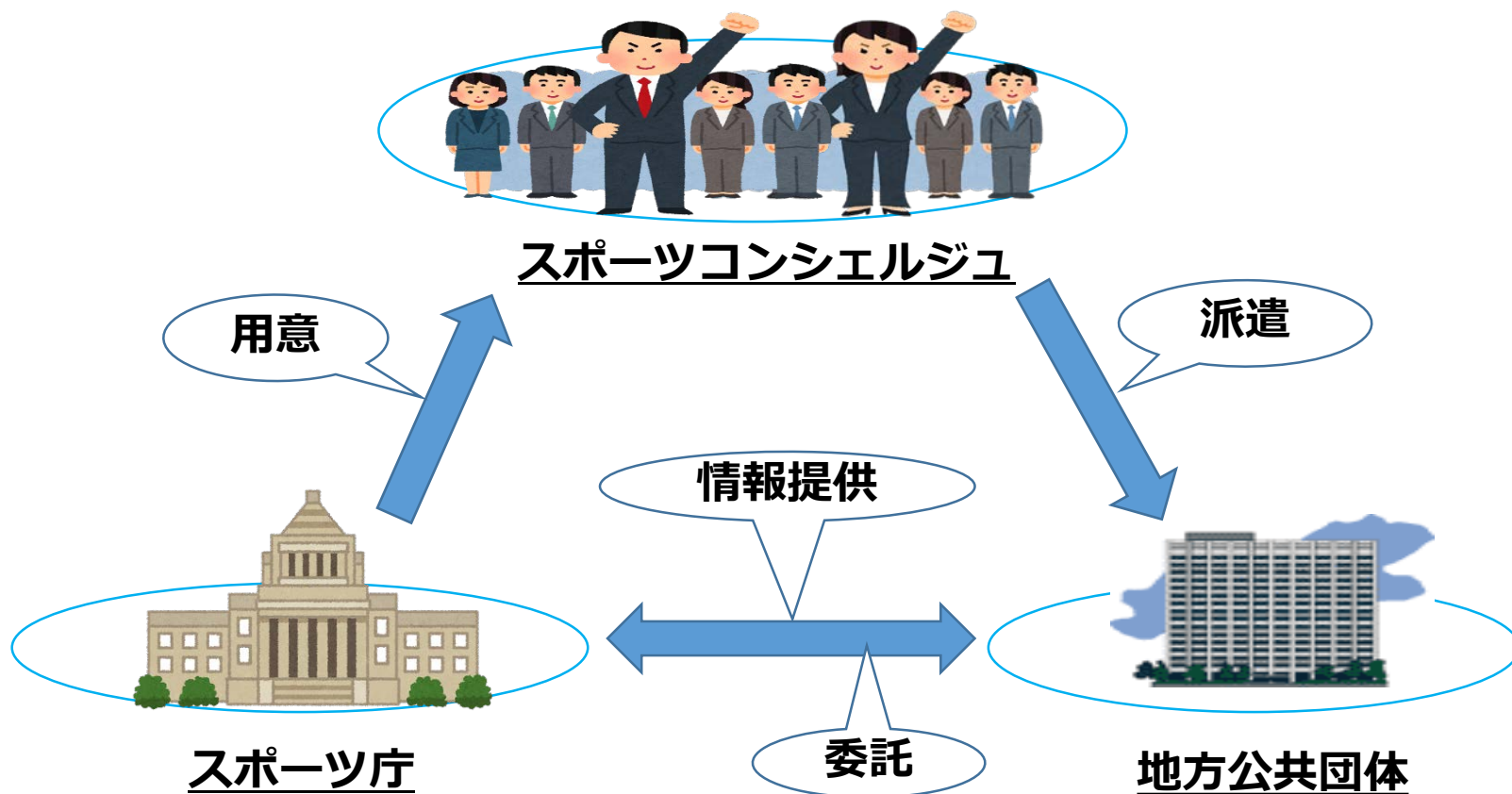
## 問題点

- 長期的ビジョンに対応していない  
→ 派遣期間が2年
- 対象都市が限定的  
→ 人口5万人以下の市町村が対象
- 派遣される人物が限定的  
→ 国家公務員が中心

これを解決するために・・・

スポーツ庁に  
スポーツコンシエールジユを  
設置する

# スポーツコンシェルジュ



# スポーツ庁を介すること によるメリット

- 地方公共団体に質の高い人物を派遣できる
- マッチングの幅が広がる
- 地方公共団体が積極的に地方創生に取り組むようになる



等

# スポーツ庁の主な取り組み

- 社会的発信力の高いスポーツ関係者の情報を集め、名簿化する
- 地方公共団体に情報を提供する
- 地方公共団体とコンシェルジュとのマッチングを促す
- 定期的に名簿の更新を行い、情報発信する



# スポーツコンシエルジュ

1. クラブチームの経営に携わる
2. 地方公共団体との協力体制をより強固なものにするよう働きかける
3. 住民の注目を集める広告塔となる
4. 地域の企業をスポンサーとして取り込む役割を果たす



# 財源

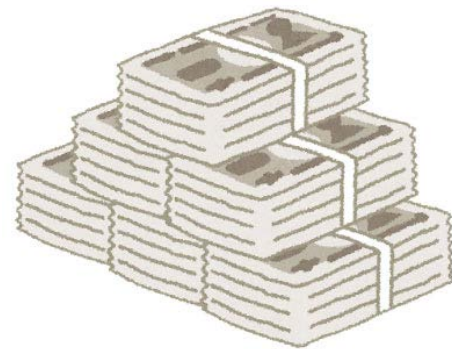
必要となるコストを賄うための資金の確保方法として以下の3つの方法を挙げる

- 地方公共団体の税金



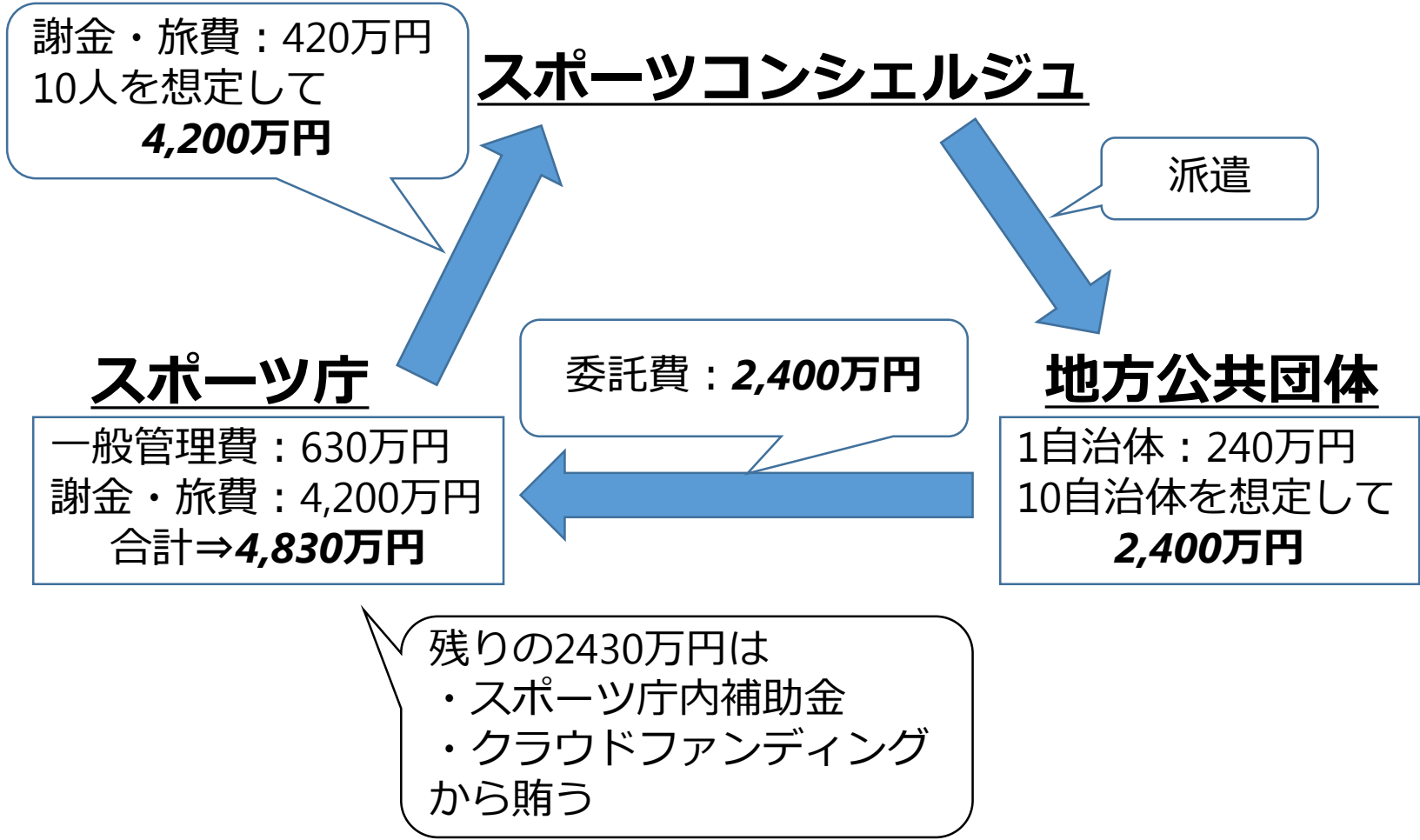
- スポーツ庁内の補助金

- クラウドファンディング





# 必要とされるコスト



# まとめ

社会的発信力の高いスポーツ関係者を長期的に  
地方に派遣し地方のスポーツクラブを経営

地域住民の注目度の急激な上昇

観戦回数の増加

定住意向の向上

人口流出の抑制

地方創生の実現

# 参考文献

- ・大石希ら(2012)「プロサッカーチームがもたらす地域活性化の定量的便益」土木学会中部支部研究発表会
- ・国土交通省(2011)「国土の長期展望 中間とりまとめ」  
([http://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/kokudo03\\_sg\\_000030.html](http://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/kokudo03_sg_000030.html)) 最終閲覧2015年11月12日
- ・首相官邸(2015)「平成27年度4月3日 まち・ひと・しごと創生本部」  
[http://www.kantei.go.jp/jp/97\\_abe/actions/201504/03mati\\_hito\\_sigoto.html](http://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/actions/201504/03mati_hito_sigoto.html)) 最終閲覧2015年11月19日
- ・スポーツ庁(2015)「平成28年度 概算要求主要事項」  
([http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_icsFiles/afieldfile/2015/08/27/1361293\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2015/08/27/1361293_1.pdf))最終閲覧2015年11月12日
- ・内閣地方創生推進室「地方創生コンシェルジュ制度」(<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/concierge/gaiyou.pdf>)  
最終閲覧2015年11月12日
- ・二宮浩彰(2010)「プロスポーツ・ファンの地域愛着とスポーツ観戦者行動」SSFスポーツ政策研究 第3巻1号
- ・小塚みすず(2009)『定住意識に影響を与える個人属性および地区環境の要因に関する研究』都市計画報告書 No.7,p.94
- ・文部科学省(2011)「スポーツ基本法」
- ・古屋岳彦・牧山正男(2004)「滞在型市民農園利用者の意識と行動および地域活性化」農村計画論文集 p.208
- ・増田寛也(2014)『地方消滅-東京一極集中が招く人口急減』中公新書
- ・FC IMABARI Official Site (<http://www.fcimabari.com/>)最終閲覧2015年11月12日
- ・Sportie FUND (スポーティー・ファンド) (<https://cf.sportie.jp/>) 最終閲覧11月27日

ご静聴ありがとうございました

